

【方針3】「人」と「知」の基盤づくり

7 活動人口増加プロジェクト

～信州を元気にする「活動人口」の増加～



少子化対策の充実と移住・交流の促進により人口減少を抑制することに加え、様々な社会活動を活発化させることにより活動人口の増加をめざします。

アクション1 結婚しやすい環境づくり

未婚者の出会いの機会の拡大や結婚生活を支える若者の雇用の安定化など結婚しやすい環境づくりに取り組みます。

アクション2 子育てを支える環境づくり

仕事と家庭の両立支援に向けた取組などにより、1人目はもとより、2人目、3人目の子育てもしっかり支える環境づくりを進めます。

アクション3 移住・交流推進施策の積極的な展開

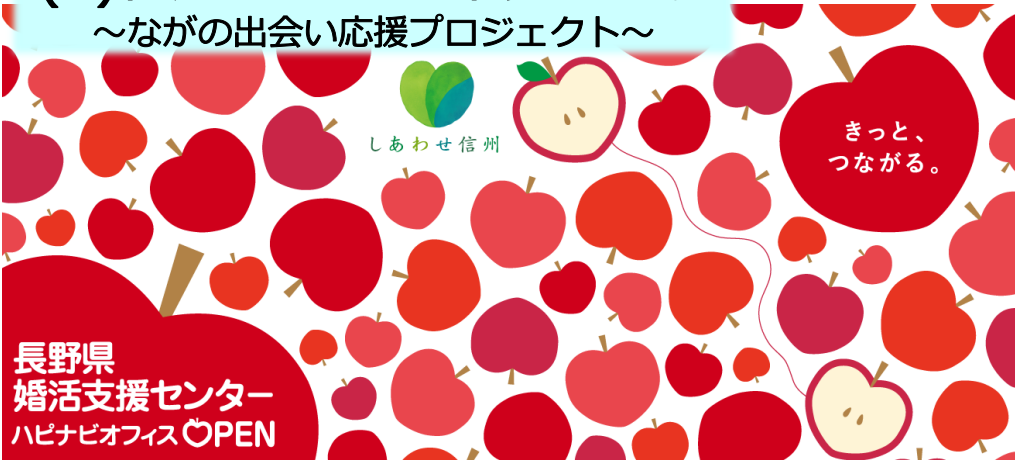
三大都市圏などからの移住希望者に対する総合的・横断的な移住・交流推進施策を積極的に展開します。

アクション4 公共的活動の支援と協働の積極的推進

NPO等多様な民間の主体が行う公共的活動を支援するとともに、様々な主体との協働を積極的に進めます。

(1)結婚しやすい環境づくり

～ながの出会い応援プロジェクト～



【取組のポイント】

- 社会全体で結婚や子育てを支援する気運を醸成
- 若者の出会いの機会の拡大

現状と課題

合計特殊出生率

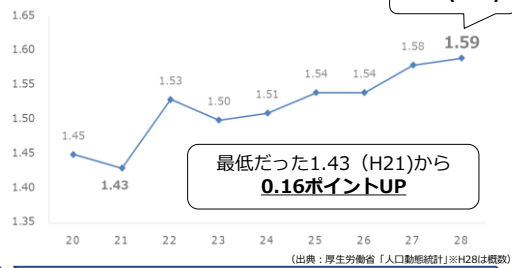
1.59 (H28概数) (全国12位)

県の推計値を上回る出生数

752人 (H28)

※推計値14,417人に対し、出生数15,169人

長野県の合計特殊出生率の推移



主な取組

- 「長野県婚活支援センター」の開設 (H28.10～)

長野県婚活支援センター
マスコットキャラクター
「天使のアルクマ」



長野県PRキャラクター「アルクマ」
(婚活支援バージョン) ©長野県アルクマ

- しあわせ信州婚活サポーター(個人)・
婚活応援団(団体・企業)の認定(H25.9～)
- 「ながの結婚マッチングシステム」
の運用(H23.7～)

成果

- 企業・異業種間交流を開催し、
若者に出会いの場を提供 (H28年度実績)

「Off Cafe(オフカフェ)」8回開催 **268名**参加

「県庁101com(イマルイッ)」 **114名**参加

- 婚活サポーターの活動により52組
マッチングシステムにより12組成婚

(H28年度実績)

婚活サポーター：**801名**

婚活応援団：**180団体**

(H29.3現在)



県庁101com(イマルイッ)の様子

(2) 子育てを支える環境づくり ～みんなで支える“子育て安心県 ながの”～



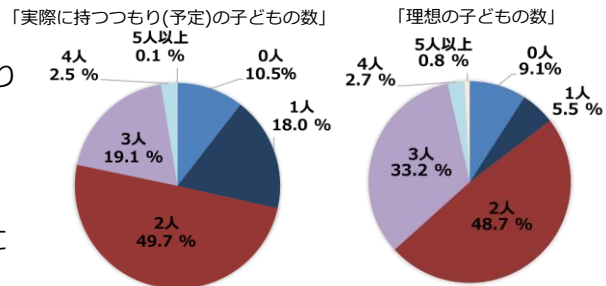
【取組のポイント】

- 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- 多様な保育サービスの提供

現状と課題

「長野県子育て支援戦略」により
県と市町村とが協働して
子育て支援策に取り組む

「理想とする子どもの数」と
「将来持つ予定の子どもの数」に
ギャップ



(出典：長野県民の結婚・出産・子育てに関する調査 (H28))

主な取組

- 市町村と協働で
子育てに伴う経済的負担の軽減
- 「信州母子保健推進センター」事業
の推進(H27.4開設)
市町村における妊娠から子育てまで一貫した支援体制
を構築
- 信州やまほいく(信州型自然保育)
の普及を推進(H27.4認定制度創設)

成果

- 県内全ての市町村で
第3子以降の保育料軽減を実施
兄弟同時入所要件なし・所得制限なし (H27.4～)
- 母子保健指導マニュアルを改訂(H29.3)
- 産後ケアアドバイザーを市町村の授乳指導
や育児相談等(産後ケア)の普及促進の
ため派遣 (H28年度実績)
4市町 延べ25人派遣
- 信州やまほいく認定園
を115園認定 (H29.3月末現在)



(3) 移住・交流推進施策の積極的な推進 ～心が澄む、信州に住む～



【取組のポイント】

- 長野県で働くことの提案と支援
- 住まいに関する支援の充実
- 移住・二地域居住の魅力発信、相談・地域への溶け込み支援

現状と課題

移住したい都道府県ランキング

11年連続 第1位

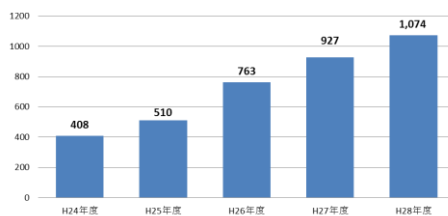
(田舎暮らしの本(宝島社)調べ)

20～30歳代の移住相談の利用者が増加

全体の45.9% (H27年度)

(ふるさと回帰支援センター調べ)

行政サポートによる移住者数(長野県調べ)(単位:人)



主な取組

- 移住情報と仕事情報をワンストップで提供する機会づくり(H25.1～)
- 多様なニーズに配慮した住まいの提案
県外居住者が県営住宅の入居可能に(H29.4～)
※入居には一定の要件あり
楽園信州移住応援企業と連携し住まい探しを支援(H28.9～)
- 移住相談員、移住セミナーによる移住・二地域居住の魅力発信(H28.1～)
- 宿泊体験用コンパクト住宅を整備する市町村への支援(H28.4～)

成果

- 行政サポートによる移住者数
目標900人⇒実績**1,074人**(H28年度)
- 労働局との一体的実施によるUIターン相談による就職者数**99人**(H28年度実績)
- 二地域居住者向けコンパクト住宅普及
2町村へ支援
(H28年度実績)



(4) 公共的活動の支援と協働の積極的推進

～協働が切りひらく新たな共創社会に向けて～



信州子どもカフェ
多様な主体により運営されています。

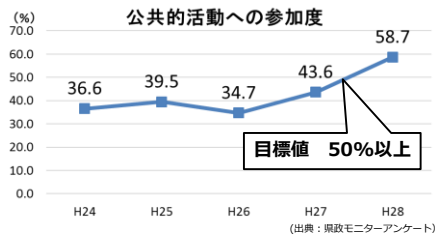
【取組のポイント】

- NPO等多様な民間の主体が行う公共的活動を支援
- 様々な主体との協働を積極的に推進

現状と課題

「信州協働推進ビジョン」(H25)に基づき
多様な主体の協働の拡大を推進

県民の公共的活動への参加度
36.6% (H24) → **58.7%** (H28)

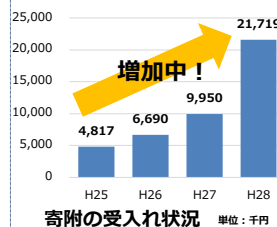


主な取組

- 「長野県みらいベース」の開始
(H25.4～)
寄附文化を醸成し、県民や企業からの寄附により
地域の暮らしや活性化を支えるNPO等の活動を支援
- 「協働コーディネートデスク」
による協働の推進
- 様々な団体との連携による
県民協働の推進
▶ H28年度
(株) モンベルとの協定
日本生命保険相互会社との協定
損害保険ジャパン日本興亜(株)との協定

成果

- 寄附受領額：H28年度 21,719千円
助成団体数：H28年度 54団体
- 協働コーディネートデスクにおける
相談、協働提案への対応 34件 (H28)



協働コーディネーターでの相談の様子

7 活動人口増加プロジェクト

達成目標の進捗状況

(総括マネージャー 県民文化部長)

進捗区分 ●「A」：目安値以上 ●「B」：80%以上100%未満の進捗
 ●「C」：80%未満の進捗 ●実績値なし：今年度実績値が把握できない
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値) ・目安値：各年の目標値

県の推計値を上回る出生数	暦年	単位	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	目標(H29)
	目安値	人			0	100	200	400
実績値			-	156	269	640	752	
進捗区分				A	A	A	A	
※実績値は下表のB-A 【関連データ】 (単位：人)								
指標名				H25	H26	H27	H28	出典： H28年人口動態統計(概数)
県推計値 A				16,170	15,579	14,998	14,417	
出生数 B				16,326	15,848	15,638	15,169	
指標名				H25	H26	H27	H28	出典： H28年人口動態統計(概数)
合計特殊出生率				1.54	1.54	1.58	1.59	
(進捗状況の分析) H28年の出生数は15,169人となり、H27年の出生数15,638人を下回りましたが、推計値14,417人に対しては752人上回っています。また、合計特殊出生率もH24年の1.51から1.59まで回復しています。				(今後の取組) ・平成30年度を初年度とする新たな子ども・若者支援の総合的な計画を策定し、様々な主体と連携した子育て支援施策を実施 ・市町村や企業等と連携した結婚支援の充実を図る				

7 活動人口増加プロジェクト

行政サポートによる移住者数	年度	単位	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	目標(H29)
	目安値	人			600	700	800	900
実績値			456	510	763	927	1,074	
進捗区分				C	A	A	A	
【関連データ】								
指標名				H25	H26	H27	H28	H18~H28年11年連続1位
移住したい都道府県ランキング				1位	1位	1位	1位	出典：田舎暮らしの本(宝島社)調べ
(進捗状況の分析) 相談員の増加等による相談体制の充実や、田舎暮らし「楽園信州」推進協議会の取組の定着により、順調に推移しています。また、移住希望地ランキングでも上位を維持しています。				(今後の取組) ・三大都市圏(東京、大阪、名古屋)での移住相談 ・ターゲットを絞った移住相談セミナーの開催				

公共的活動への参加度	年度	単位	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	目標(H29)
	目安値	%			39.3	42.0	44.7	47.4
実績値			36.6	39.5	34.7	43.6	58.7	
進捗区分				A	C	B	A	
(進捗状況の分析) 協働コーディネートデスクによる協働の推進、寄附サイト「長野県みらいベース」、専門的知識・技能を持つボランティア(プロボノ)とNPO等とのマッチングを支援する「長野県プロボノベース」によるNPO等への支援を実施した結果、県民の公共的活動への参加度は昨年度の実績を大幅に上回りました。				(今後の取組) ・引き続き、協働コーディネートデスクの運営、NPO設立講座、NPO運営セミナー等を実施するとともに、「長野県みらいベース」、「長野県プロボノベース」を通じて資金・人材の両面からNPO支援を実施することにより、県民の公共的活動への参加を促進 ・若い世代との協働の推進				